

2025年10月28日

筑波大学との中小企業支援プログラム 「女性に選ばれる企業を目指すウェルビーイング経営講座」開講について ～人材不足時代を勝ち抜くために～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2025年12月より、筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター（センター長 久野 譜也）^{注1}およびぶぎん地域経済研究所（社長 小山 和也）と共同で、県内の中小企業を支援するプログラムとして「女性に選ばれる企業を目指すウェルビーイング経営講座」を開講いたしますので、お知らせします。

当行では、健康・ウエルネスの視点を採り入れることで、地域活性化の取り組みを一層加速させていくことを目的に、2023年より筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センターとの人的交流を開始し、同センターが遂行中のSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）^{注2}における「女性特有の健康課題が仕事のパフォーマンスに影響しているが、対応が進んでいない」という課題認識に基づき、県内の企業経営者を対象としたセミナーの開催や企業の実態リサーチ、アンケート調査など協働を進めてまいりました。

現在、人材の確保・定着が多くの中堅企業にとって急務となっておりますが、特に健康面を含む女性の活躍推進上の課題に対する認識不足は、貴重な人材の流失へと繋がり、競争力低下はもとより持続可能性への懸念などに結び付いていくことが危惧されております。

このようななか、従業員を含むステークホルダーの幸福と経済価値の両立を図り、持続的成長を実現していくという「ウェルビーイング経営」の重要性が指摘されています。

今般の中小企業支援プログラムは、女性に選ばれるウェルビーイング経営の実践を後押しするもので、筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センターの専門家を講師に、これまでの研究成果や先進事例などを紹介しながら、自社の現状の把握・分析を行い、今後の改善に向けた実践へと繋げていただくことを企図しております。あわせて、参加企業同士の交流機会としてナイトサイエンス（懇親会）も併催し、埼玉県におけるウェルビーイング経営の気運醸成を目指してまいります。

加えて、プログラム受講後における改善計画の策定やそれに基づく制度・環境整備、アンコンシャスバイアスをなくす施策の立案、女性特有の健康課題の影響を和らげるAIアプリの活用など、当行と筑波大学が継続的に取り組みを支援する態勢を整えております。

当行では今後もこうした取組みを通じ、持続可能な地域経済及び社会の創出に貢献してまいります。

注1 筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター

健康長寿社会を実現できる都市の創生に資するため、超高齢社会に起因した諸課題に関する開発研究を推進し、その成果としての政策を社会に提言するとともに、これらを実現できる高度職業人の養成機能を確立することを目的に2020年11月に筑波大学内に創設された機関です。

注2 SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）

内閣府総合科学技術・イノベーション会議が司令塔となり、府省の枠や旧来の分野を超え、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクトです。基礎研究から実用化・事業化を見据えて研究開発を推進し、経済成長の原動力として社会を飛躍的に変える科学技術イノベーションを強く推進するものです。（SIPは、Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Programの略称です。）

今回のセミナーは、久野 譜也氏がプログラムディレクターを務めているSIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」（期間：2023年度～2027年度）の一環となります。

次ページへ



《プログラム概要》 ～文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」～

日程	2025年12月～2026年2月（全3回）15：00～17：30		
会場	清水園（さいたま市大宮区東町2-204-1）		
対象	中小企業の経営者および総務・人事担当など実務者		
定員	20社×2名（経営者および実務者）	受講料	無料
主催	武蔵野銀行、筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター		
共催	ぶぎん地域経済研究所		
内 容	第1回	12／19（金） （経営者・実務者）	女性に選ばれるウェルビーイング経営とは・自社の現状把握 ・なぜ経営改革に「ウェルビーイング経営」が必要か ・企業のサステナビリティと女性活躍との関係 ・女性特有の健康課題への理解、その対策 ・ウェルビーイング経営指標による自社評価 ・ウェルビーイング経営を推進している中小企業の先進事例
		講師 久野 譜也氏 筑波大学大学院人間総合科学学術院 教授 筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター長 内閣府SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」 プログラムディレクター	
	第2回	1／14（水） （経営者）	ウェルビーイング経営のために必要な制度・ アンコンシャスバイアス対処法の理解 ・ウェルビーイング経営のために必要な制度・事例の理解 ・社員のやる気を最大化する共感マネジメント ・ウェルビーイング経営指標の結果に基づく対策①
		1／27（火） （実務者）	ウェルビーイング先進事例の学習 ・ウェルビーイング経営のために必要な制度・事例の理解 ・社員のやる気を最大化する共感マネジメント ・ウェルビーイングの評価方法に対する理解
		講師 塚尾 晶子氏 株式会社つくばウエルネスリサーチ 取締役副社長 内閣府SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」 プログラムディレクター補佐 茨木 拓也氏 株式会社NTTデータ経営研究所ニューロイノベーションユニット ディレクター	
	第3回	2／10（火） （経営者・実務者）	自社の現状分析・今後の改善の方向性の発表 ・ウェルビーイング経営指標の結果に基づく対策② ・グループディスカッション
		講師 久野 譜也氏、塚尾 晶子氏、茨木 拓也氏	

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
 総合企画部 吉田 均
 TEL (048) 641-6111 (代表)

女性に選ばれる 企業を目指す ウェルビーイング経営講座

～ 人材不足時代を勝ち抜くために ～

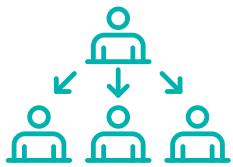


女性特有の健康課題への対応が遅れている企業が多い中、「ウェルビーイング経営」が注目されています。
「生産性向上」や「人材定着」による持続可能な経営への転換に向け、筑波大学と武蔵野銀行は、
中小企業の皆さまが「女性に選ばれる企業」となることを支援するプログラムを展開します。



■ 中小企業の人材不足はもはや「経営課題」ではなく「存続危機」になっています

50%以上の中小企業が人材確保・育成を最も優先度の高い経営課題と認識するなど、**人材の確保・定着が深刻な課題となっています**。特に女性の健康課題の理解など女性活躍への理解不足は貴重な人材の流出を加速させており、このままでは、企業の競争力は低下し続け、持続可能性も危ぶまれます。



深刻な人手不足

人材不足を理由とする倒産が260件と過去最多を記録



女性特有の健康課題に対する理解不足

女性特有の健康課題やそれに即した就労環境の整備の重要性を
埼玉県の中企業経営者の80%以上が全く認識していない

出典：中小企業庁調査(2024年)、帝国データバンク調査(2023年)、筑波大学調査(2024年)より

女性に選ばれるための
ウェルビーイング経営の導入

ウェルビーイング経営とは？

組織のステークホルダー(従業員、顧客、地域社会等)の幸福と経済価値の両立を図り、持続的成長を実現する経営手法

ウェルビーイング経営を実施することにより、「業績向上」「人材確保」「人材定着」に大きく寄与します

働きやすさが成果につながる企業へ

- ・ウェルビーイング経営を導入した企業では、売上が**75%増加**、営業利益率が**80%向上**しています。
- ・女性活躍推進に積極的な企業は消極的な企業と比較して**1.5倍**業務効率化を実感しています。



出典：経済産業省 近畿経済産業局調査(2023年)、東京海上ディール株式会社調査(2024年)より

人が集まり、育ち、定着する企業へ

- ・近年の調査では、大学生の約**7割**が就活時に企業のウェルビーイングの取組を重視していることが明らかになっています。
- ・女性活躍推進に積極的な企業は消極的な企業と比較して**2倍**程度採用応募者の増加、離職者の減少も実感しています。



■ 本プログラムを受講するメリット



本プログラムは単なる講習にとどまりません。受講後も、ウェルビーイング経営の導入に向けて、筑波大学と武蔵野銀行が継続的に経営改善を支援できる体制を整えております。

支援例

- 自社のウェルビーイング度合いの測定(プログラム内で実施)に伴う改善計画の作成
- 上記に基づく会社の制度・環境整備
- 職場のアンコンシャスバイアスをなくす施策立案
- 女性特有の健康課題の影響を和らげるAIアプリの活用 等



第1回と第3回終了後に懇親会(ナイトサイエンス)を開催し、参加者同士の横のつながりを構築できます。



受講の証明としてオープンバッジ及び筑波大学による受講証明書が付与されます。
※オープンバッジ…学習や研修の成果をデジタルで証明できる国際基準の認定マークのこと



■ 主催者からのメッセージ

久野 譜也
Shinya Kuno

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授
筑波大学スマートウェルネスシティ(SWC)政策開発研究センター長
SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」プログラムディレクター

※リスキリング:新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること

日本社会では、少子高齢化の進展に伴い、一人ひとりが自分らしく力を発揮できる職場環境づくりがますます重要になっています。特に、企業内における女性特有の健康課題やライフステージに応じた支援が十分とはいえず、それが働きやすさや生産性に影響を及ぼしているのが現状です。こうした課題に対して、筑波大学SWC政策開発研究センターと武蔵野銀行は連携して、中小企業の皆さまが学び直しを通じて、「女性活躍によるウェルビーイング経営」を実践でき

るリスキリングプログラムを文部科学省の支援を受けて立ち上げました。本プログラムでは、意識を変えるきっかけにとどまらず、内閣府「SIP包摂的コミュニティプラットフォームの構築」の研究開発成果による解決策を実際に活用いただける体制を整えております。この取り組みでは、経営者や従業員の皆さまと共に学び、挑戦し、実践することで、企業の持続的な成長と地域の未来を共に作りあげてまいります。

■ プログラム詳細

第1回 女性に選ばれるウェルビーイング経営とは・自社の現状把握

日程:2025年 12/19(金) 15時00分～17時30分

対象者

- ① 経営者
- ② 実務者
(総務・人事担当等)

内容

- 1) なぜ経営改革に「ウェルビーイング経営」が必要か
- 2) 企業のサステナビリティと女性活躍との関係
- 3) 女性特有の健康課題への理解、その対策
- 4) ウェルビーイング経営指標による自社評価
- 5) ウェルビーイング経営を推進している中小企業の先進事例

会場:清水園

講師

久野 譜也
筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授
筑波大学SWC政策開発研究センター長
SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」プログラムディレクター

第2回 ウェルビーイング経営のために必要な制度・アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)対処法の理解

日程:2026年 1/14(水) 15時00分～17時30分

対象者

- ① 経営者

内容

- 1) ウェルビーイング経営のために必要な制度・事例の理解
- 2) 社員のやる気を最大化する共感マネジメント
- 3) ウェルビーイング経営指標の結果に基づく対策①

会場:オンライン

講師

塚尾 晶子
株式会社つくばウェルネスリサーチ 取締役副社長
SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」プログラムディレクター補佐

第2回 ウェルビーイング先進事例の学習

日程:2026年1/27(火) 15時00分～17時30分

対象者

- ② 実務者
(総務・人事担当等)

内容

- 1) ウェルビーイング経営のために必要な制度・事例の理解
- 2) 社員のやる気を最大化する共感マネジメント
- 3) ウェルビーイングの評価方法に対する理解

茨木 拓也

株式会社NTTデータ経営研究所 ニューロ
イノベーションユニット ディレクター

第3回 自社の現状分析・今後の改善の方向性の発表

日程:2026年 2/10(火) 15時00分～17時30分

対象者

- ① 経営者
- ② 実務者
(総務・人事担当等)

内容

- 1) ウェルビーイング経営指標の結果に基づく対策②
- 2) グループディスカッション

会場:清水園

講師

久野 譜也
塚尾 晶子
茨木 拓也

主催者



筑波大学

女性特有の健康課題への深い理解と、20年以上のリスクリングの実施経験を活かした講義展開を行います。



武蔵野銀行

経営課題の解決と持続的な成長に向けて、最適なソリューションを提供することで、お客さまの持続的な未来を共に創造してまいります。



プログラム概要

詳細は中面をご確認ください

対 象

- ①中小企業の経営者
- ②中小企業の総務・人事担当等の実務者

実施回数

①,②共に全3回

受入人数

20社×2名（原則、1社から①経営者、
②実務者の1名ずつご参加いただく想定です）

受講料

今年度は無料でご参加いただけます

※来年度以降は有償での提供となります。今年度はプログラムの実現可能性の検証のために無償で提供いたしますが、アンケート調査等へのご協力をお願いいたします。

会 場

第1回、第3回：清水園（埼玉県さいたま市大宮区東町2-204-1）

第2回：オンライン

備 考

第1回、第3回終了後には同会場で懇親会（ナイトサイエンス）を実施します（会費制）



お申し込み方法

下記申込書にご記入のうえ、FAXにて、0120-54-6340（フリーダイヤル）ぶぎん地域経済研究所宛に、12/12（金）までにお申し込み下さい。また、下記のメールアドレス（bugin-club@bugin-eri.co.jp）宛に参加申込書の情報を記載し送付いただく形でのお申し込みも可能です。
お申し込み受付後、受講票等のご案内をお送りいたします。

参加申込書

貴社名	武蔵野銀行取引 ○で囲む 有 / 無
ご住所	
ご連絡担当者 部署・役職 氏名	電話/FAX / ご連絡担当者 E-mail
役職名・受講者名（○で囲む） 1. ①経営者・②実務者 2. ①経営者・②実務者	E-mail ゼロ、エルはフリガナをお願いします 1. 2.

お問い合わせ先

ぶぎん地域経済研究所 経営情報事業部 セミナー事務局
TEL: (048) 647-8484 E-mail: bugin-club@bugin-eri.co.jp